

プログラムスケジュール一覧

年間スケジュール	プログラム	Hop	Step		Jump		語学プログラム						
		英語による専門教育プログラム (インターナショナル・ スタディーズ(一))	短期海外実学研修 短期海外語学研修	世界学生サミット(ISS)	CIEP	長期交換留学・長期研究留学 【後学期出発】	長期交換留学・長期研究留学 【前学期出発】	長期海外学修活動	TOEFL ITP E-learning ※実施回数：2回(予定)	TOEFL ITP 団体試験 ※実施回数：3回(予定)	TOEFL IBT Writing講座 ※実施回数：2回(予定)		
前学期	4月	前学期(13科目) インターナショナル・ スタディーズ(一)	申込期間 (夏期)	選考会	説明会								
	5月				申請受付								
	6月					プレサミット							
	7月							募集案内					
	8月				夏期プログラム 3~4週間	ISS	CIEP		申請受付				
	9月							選考会					
後学期	10月	後学期(9科目)	申込期間 (春期)				渡航準備・ オリエンテーション 〜翌春出発						
	11月						募集案内						
	12月							募集案内					
	1月						申請受付		申請受付				
	2月					説明会		選考会		選考会			
	3月							選考結果通知		選考結果通知			
冬季休業	1月												
春季休業	2月		春期プログラム 3~4週間				渡航準備・ オリエンテーション 〜翌夏出発						
	3月						休学手続き (4月から休学の場合)						

※感染症や国際情勢等の影響により、安全性を考慮し、プログラムの実施時期、方法、内容に変更がある場合があります。詳しくは、各プログラムの募集案内を確認してください。

「留学」×「国際交流」
世界に HOP! STEP! JUMP!

GLOBAL BRIDGE

TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE
東京農業大学

【世田谷キャンパス】グローバル連携センター
【厚木キャンパス】学生教務課
【北海道オホーツクキャンパス】学生教務課

国際交流に関する情報を
キャッチしよう！

- 学生ポータルサイトを活用しよう
- グローバル連携センターに相談しよう

メールアドレス：shogaku@nodai.ac.jp
グローバル連携センター 農大アカデミアセンター 2F

HP URL : <https://www.nodai.ac.jp/cip/>

CHECK !!

国際プログラムに関する最新情報配信中

グローバル連携センター
公式 LINE

グローバル連携センター公式
Twitter

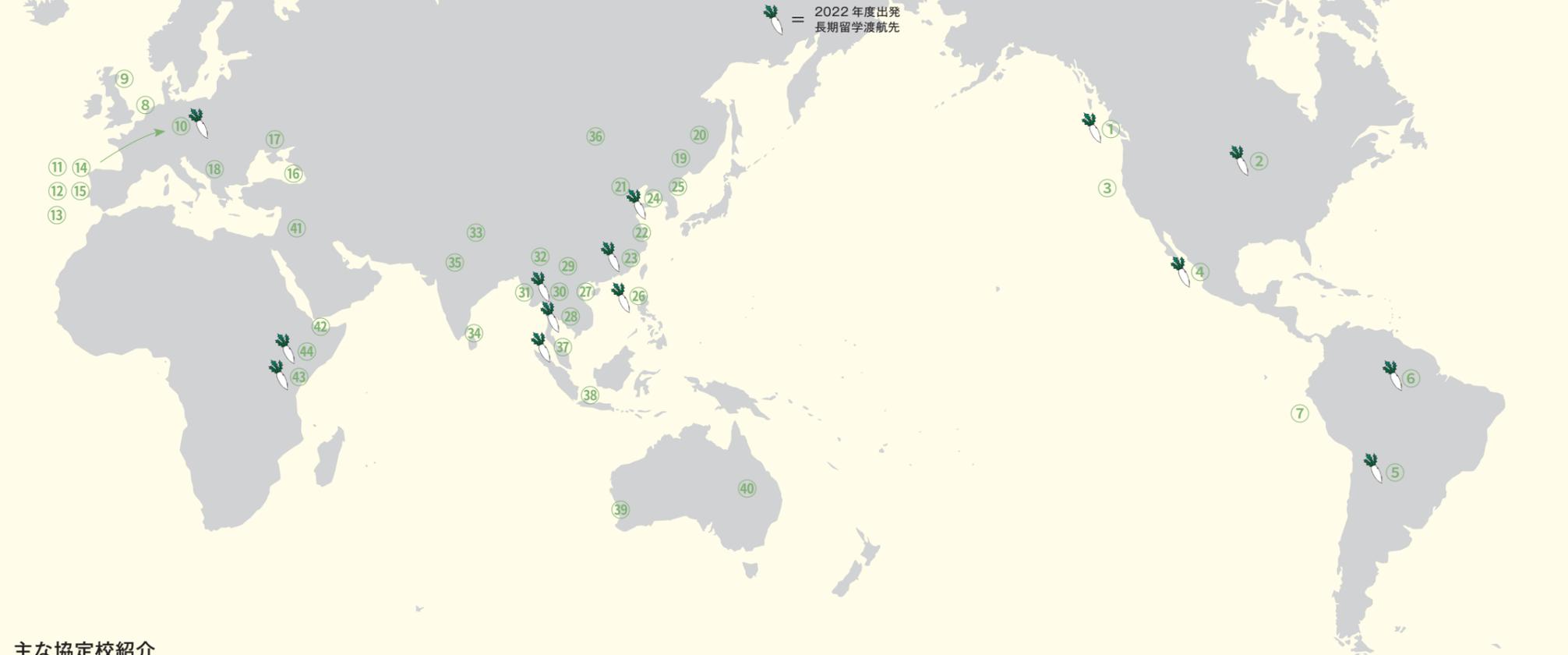
2023

農 TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE

「留学」×「国際交流」

世界に HOP! STEP! JUMP!

海外協定校44校、世界32ヶ国・地域



海外協定校一覧

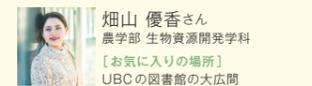
国・地域	大学名	夏期／春期 短期留学	長期交換・ 研究留学	長期交換・ 研究留学時 授業料免除	長期留学 参加数 (人) ※1	
北米	カナダ ①ブリティッシュコロンビア大学	●	●	●	1	
	アメリカ ②ミシガン州立大学	●	●		1	
	③カリフォルニア大学デイビス校		●			
中南米	メキシコ ④チャビンゴ自治大学		●	●	2	
	ブラジル ⑤サンパウロ大学		●	●	1	
	⑥アマゾン農業大学		●	●	1	
ペルー ⑦ラ・モリーナ国立農業大学		●	●			
ヨーロッパ	英国 ⑧レディング大学		●			
	⑨ハイランズ・アンド・アイランズ大学		●	●		
	オランダ ⑩ワーヘニンゲン大学		●	●	4	
	フランス	⑪リール農業高等学院		●	●	
		⑫アンジェ農業高等学院		●	●	
		⑬ロヌ・アルプス農業栄養高等学院		●	●	
		⑭ブルバン技術学院		●	●	
	⑮ボーベ・ラサル・ポリテクニク学院		●			
	トルコ ⑯オンドクス マユス大学		●			
	ウクライナ ⑰国立生命環境科学大学		●			
ポニアヘルヴェツェ ⑱東サラエボ大学		●				
ロシア	⑲極東連邦大学		●	●		
	⑳ロシア連邦沿海州農業アカデミー		●			
アジア	中国 ㉑中国農業大学		●	●		
	㉒上海交通大学		●	●		
	台湾 ㉓国立中興大学	● (春予定)	●	●	1	
	韓国 ㉔国立慶北大学		●	●	1	
	㉕国立江原大学		●	●		
フィリピン ㉖フィリピン大学ロスバニョス校		●	●	1		
ベトナム ㉗ベトナム国立農業大学		●	●			
カンボジア ㉘王立農業大学	●	●	●	1		
アジア	ラオス ㉙ラオス国立大学		●	●		
	㉚カセサート大学		●	●	2	
	㉛タマサート大学		●	●		
ミャンマー ㉜イェジン農科大学		●	●			
ネパール ㉝ネパール農業大学		●				
スリランカ ㉞ペラデニア大学		●				
インド ㉟ハリヤナ農業大学		●				
モンゴル ㊱モンゴル生命科学大学		●				
マレーシア ㊲マレーシアアトラ大学		●	●	6		
インドネシア ㊳IPB大学(旧ボゴール農科大学)		●	●			
オセアニア	㊴西オーストラリア大学		●			
	㊵西シドニー大学		●			
中東	イスラエル ㊶ヘブライ大学		●			
	ジブチ ㊷ジブチ大学		●			
	タンザニア ㊸ソコイネ農業大学	●	●	●	2	
	ケニア ㊹ジョモケニヤッタ農工大学	●	●	●	1	

主な協定校紹介



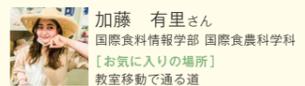
①ブリティッシュコロンビア大学

Student's Voice
カナダ有数の名門校ブリティッシュ・コロンビア大学では、自然豊かなキャンパスで6万人以上の学生が日々学んでいます。地域の人々にはUBCの略称で親しまれ、バンクーバーの活気の源といえる存在です。UBC最大の魅力は、留学生数の多さと、それ故のサポートの手厚さです。長期留学が初めてでも、沢山の仲間たちや英語を母国語としない学生に寄り添ってくださる教授陣のもと、充実したキャンパスライフを送ることができます！



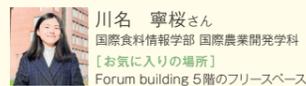
⑤サンパウロ大学

Student's Voice
私の留学しているサンパウロ大学(USP)の農学部は、南米1の農学部と言われブラジルの誰もが知っているブラジル最高峰の大学です。学外の研修に行き、自己紹介でUSPの名前を出すとみんなすくに反応してくれて、そこから話題を広げることができます。朝8時から夜の10時まで、様々なクラスがあり、幅広い研究を行っているため、自分が興味のある研究を必ず見つけることができます。



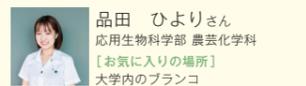
⑩ワーヘニンゲン大学

Student's Voice
私が1年間の長期留学をしている、ワーヘニンゲン大学では、1学期から郊外実習を何度も行い、オランダの水と土地管理について講義だけでなく、実際に目で見て学ぶことができます。また、英語で学べる学部がいくつかあり、オランダ国外からの学生もたくさんいます。そのため、全ての学期で行うプレゼンテーションやレポートを、異なるバックグラウンドをもつメンバーと切磋琢磨しながら進めることができます。



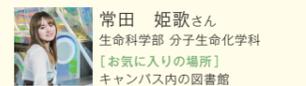
⑳カセサート大学

Student's Voice
カセサート大学は、勉強のための施設が整っているのはもちろん、学食も美味しく、自然も美しく、人々も優しいです。学内でタイのお祭りや伝統舞踊を体験することができます。タイの文化も存分に感じることもできます。私は留学で初めて海外に行きましたが、大学の寮はセキュリティもしっかりしており、安心して過ごすことができました。留学先を迷っている方は、是非カセサート大学を候補の一つにしてみてください。



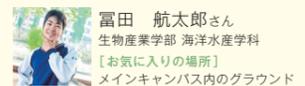
㉓マレーシアアトラ大学

Student's Voice
アジア有数の広大な敷地を有するマレーシアの国立大学です。敷地内にはヤシの木やマンゴーの木があり、自然に溢れた環境の中で学ぶことができます。東南アジアの大学でありながら、授業は全て英語で開講されるため、世界各国から留学生が訪れています。現地の学生は皆気さくで親切なので、初めての留学でも心配いりません。学内では頻りに文化交流イベントが行われ、今まで触れることなかった文化について知ることができます。



㉝ソコイネ農業大学

Student's Voice
ソコイネ農大の好きなのは2つあります！1つ目は皆フレンドリーなところ。皆が声をかけてくれ、人の距離感が近いのですぐに仲良くなれます。2つ目は皆優しいところ。困っているとき、誰かに相談したらほぼ100%助けてくれます。渡航前はアフリカに対して暗いイメージがありましたが、温かい人で溢れている国だと知りました。



※1 2022年度長期留学派遣人数

PROGRAM



JUMP



STEP

長期留学に進むこともできます!



HOP

グローバルな視点を養う

インターナショナル・スタディーズ (一)

世界の農業、食料問題をはじめ、社会、政治経済、文化について広い視野を持ち、理解を深める科目です。海外協定校のある国々を中心に、それらの国や地域の問題点と可能性を理解し、自国と世界の国々との協調のあり方を探ります。

言語 日本語 (前学期開講科目)

英語による専門教育プログラム

人類共通の課題解決のため、農業、食料、環境についての基礎知識を学ぶ科目です。英語で理解、意見を発信する力を身につけます。

言語 英語 (全学共通 26 講座 / 前・後学期開講科目)

課題解決力醸成ワークショップ

アフリカに係る民間企業で活躍する方々を講師に、アフリカの課題や思考のフレームワークを使つての課題発見、定義、仮説の検証など構築方法を学ぶプログラムです。

言語 日本語 (多少の英語能力を必要とする)

気軽に楽しむ

English Café

ALL English の交流会です。農大の留学生とともに気軽に英語を楽しみましょう。

費用 無料

世界中の学生と共に学ぶ

短期海外語学研修

学部 1~4 年 院生

海外協定校の語学プログラムで、集中的に英語を学びます。学生交流や専門講座が提供される国もあります。

費用 約 25 ~ 65 万円 * 派遣先により異なる
 期間 夏休みまたは春休み 3 ~ 4 週間
 渡航先 カナダ / オーストラリア 他
 科目 インターナショナル・スタディーズ (二)

短期海外実学研修

学部 1~4 年 院生

海外協定校での学生交流、農村や農業関連施設の視察等を通じ、派遣国の食・農・環境について学びます。

費用 約 10 ~ 50 万円 * 派遣先により異なる
 期間 夏休みまたは春休み 2 ~ 3 週間
 渡航先 アメリカ / ケニア / カンボジア 他
 科目 インターナショナル・スタディーズ (二)

食と農と環境を考える世界学生サミット (ISS)

学部 1~4 年 院生

世界中の海外協定校代表学生とともに、食・農・環境の問題についてディスカッションを行うプログラムです。

費用 原則、自己負担なし
 期間 2023 年 8 月上旬
 開催場所 世田谷キャンパス
 科目 Group Approach to Food and Environment

Comprehensive International Education Program (CIEP)

学部 1~4 年 院生

講義、フィールドスタディー、ワークショップによる集中プログラムです。海外協定校の学生とともに、日本・アジアの食・農・環境と地域開発について学びます。

費用 約 5 万円、金沢までの交通費
 期間 2023 年 7 月下旬に約 10 日間
 開催場所 世田谷キャンパス、石川県能登地域
 科目 Field Study of Food and Environment / Sustainable Agriculture in Asia

海外で自分をためす

長期交換留学

学部 2~4 年 院生

世界 32 ヶ国・地域 44 校に及ぶ海外協定校への長期交換留学プログラムです。留学先の学生とともに専門科目を学びます。

費用 留学中の本学学費は免除。派遣先大学の授業料は、協定により免除となる場合があります。(海外協定校一覧参照)

期間 半年間 ~ 1 年間

長期海外学修活動

学部 2~4 年

海外で農業・農学分野に関連した体験的学修を行う学生に対し、休学期間中の授業料減免措置および単位取得が適用される制度。(農業実習や農学分野関連のワーキングホリデー、インターンシップ等が対象です。語学留学は対象外です。)

科目 海外農業実習 (一) (二) (三)

大学院生応援プログラム

長期研究留学

院生

海外協定校の研究室に所属し、留学先教員の指導を受けながら研究を行う大学院生向けプログラムです。

期間 半年間 ~ 1 年間

他にも、英語プレゼン能力強化のためのインターンシップ、国際学会発表に係る経費補助など、様々なプログラムで院生を応援します!

卒業後の海外挑戦

JICA 海外協力隊

国際協力機構 (JICA) と連携し、農大生を海外協力隊に推薦します。大学院に籍を置きながら協力隊に参加する制度もあります。

期間 長期 2 年、短期 1 ヶ月 ~

海外農業研修

国際農業者交流協会 (JAEC) の農業研修プログラムでは、海外の優れた農業経営者の指導の下で、技術やコミュニケーション力を身につけます。

期間 3 ~ 18 ヶ月

And More!

国際農業開発学専攻では、イギリスの名門レディング大学と協定を結び、2023 年度からダブル・マスター・ディグリープログラムを開始しました。2 年間のプログラムで農大とレディング大双方の修士号を取得することが可能です。

感染症や国際情勢等の影響により、安全性を考慮し、プログラムの実施時期、方法、内容に変更がある場合があります。詳しくは、各プログラムの募集案内を確認してください。

Onchevski Ognen さん
 地域環境科学研究科 農業工学専攻
 (北マケドニア)

語学スコアアッププログラム

TOEFL・TOEIC ~実力をつけ目的を果たす~

長期留学や海外進学を目指す

TOEFL

TOEFL ITP E-learning

リーディング、リスニングの 2 技能を中心とした TOEFL iBT / ITP テスト対策講座。自身の PC、スマートフォンで好きな時間・好きな場所で学べます。

■ 費用: 5,280 円 (税込)

TOEFL ITP 団体受験

一般受験よりも受験料が安価です。留学に向けて計画的に受験しましょう。

■ 費用: 5,040 円 (税込)

※新型コロナウイルスの影響により、デジタル版で実施する場合があります。

TOEFL iBT Writing 対策講座

独学では伸ばすことが難しい Writing スキルをネイティブ講師から 3 日間集中的に学びます。

■ 費用: 世田谷・厚木 5,000 円 (税込)

※オンラインで実施する場合 3,000 円 (税込)

オホーツク 3,000 円 (税込)

* 所定の要件を満たした場合、受講料が全額返金されます。

英語圏への長期留学には、TOEFL iBT スコアは不可欠です。

就職で英語を強味にする

TOEIC

E-learning

リーディング、リスニングの 2 技能を中心とした TOEIC 対策講座。自身の PC、スマートフォンで好きな時間・好きな場所で学べます。短期留学希望者にもおすすめ!

■ 費用: 無料

TOEIC 団体受験

英語学習の目標設定や就職進学に役立つ TOEIC を受験しましょう。年 3 回実施予定。

■ 費用: 3,700 円 (税込)

日本企業の約 7 割が、採用時に TOEIC スコアを参考にしています。

大学生平均点: 約 560 点

国際関係の職に就く 社会人: 約 670 点

計画的に受験してスコアを武器にしましょう!

※各科目の履修登録を希望する学生は必ず各自で登録を行ってください。

01

MY STORY

留学先:
長期交換留学
ソコイネ農業大学
(タンザニア)

内田 歩望さん
国際食料情報学部 国際農業開発学科
3年



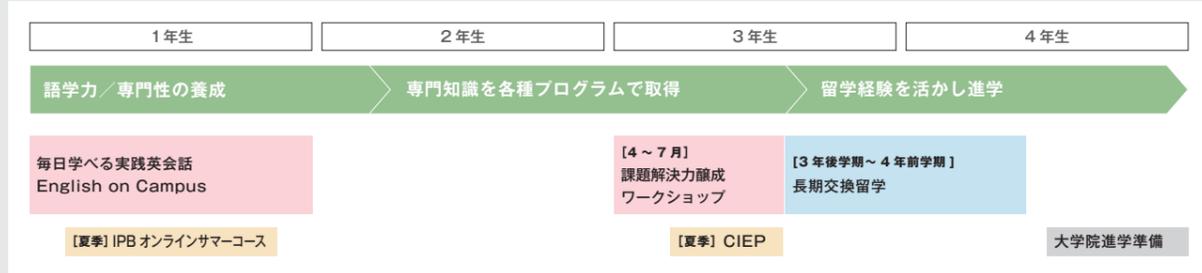
目標を持って自分らしい道を

私が海外に興味を持ち始めたのは小学生の頃でした。その後、将来的に途上国と関わる仕事に就きたいと強く思うようになり、大学入学後に基礎知識を身に付けた後にアフリカ長期留学を目指しました。将来やりたいこと、学びたい分野、大学で学んでいる分野を考え、現在、タンザニアのソコイネ農業大学に留学をしています。留学に行く前には、課題解決力醸成ワークショップ、CIEPのプログラムに参加しました。コロナ禍で思い通りに海外経験を増やすことができなかった私にとって、課題解決力醸成ワークショップで留学生からの意見を聞いたこと、CIEPでケニア・タンザニアの留学生と共に過ごしたこと、このような経験はとても刺激的で学ぶことも多くありました。留学に来た当初から日本人がいない環境でも楽しめているのは、留学前に日本でさまざまなプログラムに参加し、国際交流の経験ができたからだと思っています。国際プログラムへの参加、長期留学は自分の視野を大きく広げることができ、とても貴重な経験になると思います。



マジンブキャンパス

【4年間の流れ】



02

Leader's Voice

留学先:
短期海外語学研修
プリティッシュコロンビア大学
(カナダ)

足立 柳さん
生命科学研究所 分子微生物学専攻
博士前期課程 1年



夢になれる目標を見つけて欲しい

私は将来やりたいことが分からず、まずは英語を勉強しようという理由で留学に挑戦しました。新しい環境に身を置くことで、当たり前だったことが他国では当たり前ではないことに気がきました。そのため私は「日本の良さを届ける」という目標を持つことができ、現在それを達成するために猛進しています。このような経験から、私は留学の醍醐味は「新しい価値観と出会う」ことにあると考えています。そのため、将来に悩める学生こそ留学に挑戦して欲しいです。目標を持っている人は強いです。目標に対して何が足りないかわかり、行動を起こすのが早いからです。少しでも留学に興味があるなら、勇気を出して一歩を踏み出してください。大きなモチベーションを持ち帰ってくることで、その先に明るい未来が訪れます。



ウィスラー山

03

Leader's Voice

留学先:
短期海外実学研修
ミシガン州立大学
(アメリカ)

中埜 涼介さん
地域環境科学部 生産環境工学科
3年



Stay hungry, stay foolish

私は2年次に旅行で訪れたニューヨークに感動し、アメリカ50州制覇を目標とするようになりました。夢を実現させるためには、行動力、語学力が必要不可欠だと考えました。その第一歩として、ミシガン州立大学での短期実学研修に参加しました。出発前はある程度自信があった英語力も、専門的な授業となると歯が立たないことも多く、未熟さを実感することが多々ありました。その度に成長の機会だと考え、行動に移していく積極性を身につけることが出来たと感じています。この経験を活かして、あと48州制覇できる語学力や行動力を伸ばしていきたいと思っています。大学やオンラインで学ぶことも重要ですが、生きた英語を使わなければならない状況に身を置くことで実践力を身につけることができます。ぜひ留学に挑戦してみてください。



Dairy Cattle Teaching & Research Center

CIEP

Comprehensive International Education Program

CIEPとは、海外協定校の参加者とともに日本および世界の農業について英語で学ぶプログラムです。講義、フィールドトリップおよびグループワークで構成され、体験的な学修を通じて、多角的な視点から日本と世界の農業を理解できるようになっています。2022年度は、総勢28名(農大生18名、ケニア・タンザニアの協定校留学生10名)の学生が参加しました。3日間にわたる世田谷

キャンパスでの講義と、5日間の石川県能登地域での農業実習を通し、日本とアジアの農業について学びました。2023年度は、7月下旬に開催予定です。世界農業遺産(GIAHS:ジアス)に認定されている石川県能登地域での農業実習を含めた、約10日間のプログラムを修了すると2科目4単位を修得することができます。



石川県中能登町の棚田

Student's Voice



出来なくても、まずやってみる

鈴木 創大さん
農学部 デザイン農学科
3年

私は、英語の「読む」「聞く」は出来ても、「話す」ことが苦手だと感じていました。そこで、「出来なくても、まずやってみる」ことが重要だと感じ、講義・農業実習・ワークショップ全てを英語で行うCIEPへの参加を決めました。参加して分かったことは、英語は「話す」ことで、より使えるようになるということです。私自身、プログラム初日のディスカッションでは全く話せなかったのが、最終日には発表を行うことができるようになっていたことに成長を感じました。また、海外の学生から能登の地元の方々まで、年齢・国籍の異なるさまざまな人たちと関わることができました。多様な価値観や文化に触れる経験にもなるので、興味を持った方は、ぜひ挑戦してみてください!



ISS

第22回 「食と農と環境を考える世界学生サミット」
The 22nd International Students Summit on Food, Agriculture and Environment

Theme 2023

“Youth contribution toward global agricultural and environmental innovation in achieving sustainability focusing on food security and health.”

— 食料安全保障と健康における持続可能性達成に向け、地球規模での農業と環境の革新を起こすために若者ができること —

世界学生サミットは2001年11月に「新世紀の食と農と環境を考える世界学生サミット」をテーマとして本学学生と海外協定校学生が世田谷キャンパスに参集し、人類が直面する深刻な諸問題に関する意見・情報交換および彼ら自身の役割について討論する国際会議として発足しました。2022年度世界学生サミットは、26ヶ国・地域26大学から選抜された51名の発表者(農大生4名)、15名の座長(全員農大生)が参加し、対

面とオンラインのハイブリッド形式での開催となりました。9月20日、21日の2日間にわたり行われたグループディスカッションには、会場参加が延べ約400名、オンライン参加は世界29ヶ国・地域から延べ487名で、参加者から質問やコメントなど発言も多く、活発な議論が交わされました。「農業、教育、栄養、食料、環境」の5つのサブテーマに分かれた12グループで、参加学生が熱い討論を行いました。2023年度世界学生サミットは、8月上旬に

世田谷キャンパスの国際センター(2023年度OPEN!)で、開催予定です。



世界中の学生と白熱した議論を交わしたい皆さんの参加をお待ちしています!

Student's Voice



何事もチャレンジ!

山口 遥さん
国際食料農業科学研究科
国際農業開発学専攻
博士前期課程 1年

今回初めてISSに参加しました。農大のプレゼンターとしては唯一の日本人学生だったので、自分に務まるのが不安な気持ちが大きかったです。しかし選んでくださった期待に応えたいという思いと、何事もまずはチャレンジしてみることが大事だと考えていたので、半ば勢いでpresenterに挑戦しました。レジュメやスライドを何回も作り直したり、発表練習をしたりする機会も多く、そのたびに自分の英語力の未熟さを痛感させられましたが、周りの学生や職員の方がたくさんフォローしてくださったのでなんとか当日を迎えられました。ISSは参加すれば確実に自分を成長させられる場だと思います。多くの日本人学生にチャレンジしてもらいたいです。

Presenter